

報 告 書

令和元年12月11日

岡山県議会議長

殿

議員氏名

蓮岡靖え

(署名または記名押印)

派遣の概要は次のとおりでした。

- 1 目的 ①平成29年7月九州北部豪雨災害時の自衛隊との連携について
②自衛官の募集に係る協力状況等について
- 2 派遣場所 ①小月航空基地（山口県下関市）
②福岡県庁（福岡県福岡市）、福岡駐屯地（福岡県春日市）
- 3 派遣期間 令和元年11月25日～令和元年11月26日

【報告事項】 別紙に記入される場合は、「別紙のとおり」として、添付してください。

別紙のとおり

- ・調査にあたってのねらい、調査内容、考察、今後の取組等を中心に作成されている例が多く見られます。
- ・調査内容を補完するような資料がある場合は添付してください。

【海上自衛隊小月航空基地 所感】

特記すべきはこの小月教育航空隊は、海上自衛隊航空部隊の基幹となるパイロット及び戦術航空士を養成する第一の部隊であり、学生（航空学生及び幹部学生）には、将来の幹部自衛官としての素養教育からパイロット及び戦術航空士となるために必要な専門知識の教育を行っている。そのため基地内や宿舎などを視察する際も俊敏な姿勢で様々な訓練を受けている学生を目にしたが、大変頼もしくもあり、規律正しい生活様式はすばらしかった。翻って現在の学校教育の荒廃した状況を鑑みると、その差は大きくかけ離れており如何に人を育てる教育ということが重要であるかを再認識をした。

また海上自衛隊のパイロット及び戦術航空士は例外なく全員、小月教育航空隊を修業しているということで、大変厳しい空気感が基地全体に漂っていた。

【福岡県庁調査 所感】

特記すべきは県内の防災関係機関の連携を強化し、自然災害や危機事案への迅速な対応を可能にするためのトップ会談を毎年平時より行っていることであり、驚きと敬意をもった。まさに平時からのこうした取組が重要であり、岡山県も「防災会議」を行っているが、メンバーが網羅的であり的を絞った内容となっていない点が気になった。好事例として参考とすべきだ。

また自衛官の募集に関する点については岡山県と大きく差が開いた。福岡県では「自衛官募集事務市町村担当課長会議」を開催しているが、岡山県ではあくまで自衛隊岡山地協を主体とした程度にとどめている。さらに岡山県は高校生に対する募集についても同様で、家庭訪問の禁止など教育委員会がストッパーになっている。この改善を今後は当局に求めていきたい。

【陸上自衛隊福岡駐屯地第4師団調査 所感】

この駐屯地は最近の朝鮮半島の状況に鑑み主要都市に所在する陸上自衛隊駐屯地の中では朝鮮半島に一番近い。福岡と南九州方面へ至る幹線交通の結節点であり、博多港（特定重要港湾）、福岡空港・福岡航空交通管制部・航空交通管理センター、博多駅および南福岡車両区・博多総合車両所、航空自衛隊西部航空方面隊司令部などの重要施設が集中（西部航空方面隊と南福岡車両区は道路を挟んで隣接）しており、そのため、駐屯している第4師団の重要性が増しつつある。また福岡県との関係も良好で、創立式典や行事などへ知事や多くの県民が出席しており、災害対応においてもこの駐屯地の存在意義は大きいものとなっている。岡山県としても、こうした関係性となるように努力すべきである。